

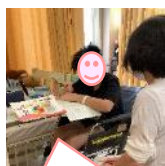
たんぽぽ



北里学級は、北里大学病院と相模原市教育委員会の協力により 1974 年に開設された、市内唯一の院内学級です。

時間・人数の制限解除

6月1日から病院の面会制限がなくなったことに伴い、北里学級での学習も、時間・人数を制限せずにできるようになりました。医療施設内での学習なので、マスク着用は引き続き行っていますが、体調が良ければ、学級に来てゆったりと学習したり、身体を動かしたりすることができます。また、他の病室のお友だちと交流することもできます。



各自のペースを尊重して、学習しています。



マスキングテープを使って、父の日のカードを作りました。



隣に学習している仲間がいると、頑張れます。

こうやって、カラダを動かしたかったんだよ！



きっとあしたはいいてんき



梅雨入りし、病室から眺める窓の外も、雨模様の日が多くなりました。6月のお楽しみ会では、「にじ」（作詞／新沢としひこ 作曲／中川ひろたか）を手話付きで歌いました。「ラララにじがにじが そらにかかって きみのきみのきぶんもはれて きっとあしたはいいてんき きっとあしたはいいてんき」という部分の歌詞の内容や気持ちを感じ取り、みんな一人一人が少しでも明るい気持ちになれるように、という願いを込めて選曲しました。



数学と国語の学習の後に、手話の予習。



中学生は廊下から参加。小学生のお友だちとちょうど向かい合う形に。



お父さん、お母さんも一緒に参加してくださいました。

就学前のお友だちも、小中学生のお姉さんたちに混ざって。

病棟保育士さんがキーボードで伴奏してくださいました。中学部職員はヴァイオリンでみんなの歌を応援しました。



参加した中学生の感想

入院生活を送っていると、他の人と交流する場面があまりないので、いろいろな人たちと一緒に活動できたことが楽しかったです。